

沼田市 新たな学校づくり 実施計画(素案)

～夢に向かう子供たちを
応援する学校へ～



学校を“ふるさと”にしたい。

子供時代のかげがえのない体験は、
現在の笑顔、将来の幸せにつながる。

子供たちは、いろいろな人との“ご縁”をつなぎながら
成長し続ける。

学校はみんなにとって思い出の“ふるさと”
でありたい。

※この実施計画については、あくまで素案であるため、
今後変更になる可能性があります。

「新たな学校」では「沼田市でしかできない教育活動」を目指します。

子供たちの可能性を引き出す **特色ある学習活動**

自ら学ぶとともに、仲間とともに高め合う姿勢を育む。



地域とともにある学び

体験活動などから、豊かな心とたくましく生きる力を育てる。

「新たな形態」の学び

適正規模校も小規模校も、豊かな学びを実現する。

現在行っている教育課程に新たな工夫を加えながら充実させ、子供たちの未来を応援します。

小学校の統合等について

地域コミュニティの拠点として、地域とともに子供を育てる教育活動の展開

地区	現在の小学校区	学校の配置場所	統合等年度	令和12年度(見込み)		備考
				児童数	学級数	
旧沼田町	沼田小学校	(変更無し)	—	204	8	通学区域の見直し (各学校の児童数は、通学区域変更前のものです)
	沼田東小学校	沼田東小学校	令和10年度	340	12	
	沼田北小学校					
利南	升形小学校	(変更無し)	—	130	6	令和9年度～ 沼田東中学校校舎を活用
	利南東小学校	沼田東中学校	—	163	7	
池田	池田小学校	(変更無し)	—	44	4	令和9年度～ 小規模特認校へ移行
薄根	薄根小学校	(変更無し)	—	128	6	令和9年度～ 小中一貫校(併設校)へ移行
川田	川田小学校	(変更無し)	—	65	6	
白沢	白沢小学校	白沢小学校	令和8年度	115	6	令和13年度～ 義務教育学校へ移行
利根	多那小学校					
		利根小学校	(変更無し)	—	43	4
合計	11校	9校		1,232	59	

- ・令和8年度の白沢小学校と多那小学校の統合では校舎を現在の白沢小学校に置き、義務教育学校移行後は現在の白沢中学校に置きます。
- ・令和13年度の義務教育学校設置後は、小学校や中学校という区分はなくなることから、小学校数は7校となる予定です。

中学校の統合等について

多くの人との関わりの中で、社会性と人間性を育む教育活動の展開

地区	現在の中学校区	学校の配置場所	統合等年度	令和18年度(見込み)		備考
				生徒数	学級数	
旧沼田町	沼田中学校	沼田中学校	・令和9年度 沼田東中学校	420	13	
	沼田西中学校					
利南	沼田南中学校					
	沼田東中学校					
川田	沼田西中学校					
池田	池田中学校	薄根中学校	令和9年度	70	3	令和9年度～ 小中一貫校(併設校) へ移行
薄根	薄根中学校					
白沢	白沢中学校	白沢中学校	・令和8年度 多那中学校	75	3	令和13年度～ 義務教育学校へ移行
利根	利根中学校					
	多那中学校					
合計	9校	3校		565	19	

- ・令和13年度の義務教育学校設置後は、小学校や中学校という区分はなくなることから、中学校数は2校となる予定です。

※児童生徒数は、令和6年4月1日までの出生数から推計しています。

※学級数は、現在の学校編制基準に基づき全児童生徒数から算出しています。

複式学級を考慮した学級数ですが、基準が異なる特別支援学級は考慮していません。

小学校統合等の具体的なスケジュール目標

適正規模に関わらず、原則、各地区に1校を配置します。

市内11校ある小学校を、令和10年度（目標）までに9校に統合します。

※令和13年度の義務教育学校設置後は、学校数が変更となります。

■個別統合計画

- ① 沼田東小学校と沼田北小学校は統合します。
- ② 白沢小学校と多那小学校は統合します。

■その他

- ① 沼田東小学校と沼田北小学校の統合に併せて、沼田小学校を含めた通学区域を見直します。
- ② 利南東小学校は現在の沼田東中学校の学校施設を活用します。



中学校統合等の具体的なスケジュール目標

適正配置に考慮した上で、原則、学校統廃合を実施します。

市内9校ある中学校を、令和12年度（目標）までに3校に統合します。

※令和13年度の義務教育学校設置後は、学校数が変更となります。

■個別統合計画

- ① 沼田中学校、沼田西中学校、沼田南中学校、沼田東中学校は統合します。
- ② 池田中学校と薄根中学校は統合します。
- ③ 白沢中学校、利根中学校、多那中学校は統合します。



小学校・中学校の共通事項（新たな形態の学び）

通学区域が広大な本市では、適正配置に配慮する必要があるため、小規模校の在り方を検討する必要があります。

① 義務教育学校

白沢小学校、白沢中学校、利根小学校、利根中学校、多那小学校及び多那中学校の小学校3校と中学校3校を合わせて義務教育学校とします。

なお、利根小学校は、義務教育学校の分校“（仮称）利根キャンパス”とし、5年生からは本校（現在の白沢中学校校舎）へ進級します。

② 小中一貫校（併設校）

池田中学校は薄根中学校と統合し、薄根小学校との小中一貫校（併設校）へ移行します。

なお、小学校と中学校は、別校舎となります。

③ 小規模特認校

池田小学校は小規模特認校とし、市内全域からの通学を可能とします。

中学校への進学は、薄根地区にある中学校、又は居住地の中学校を選択できることとします。



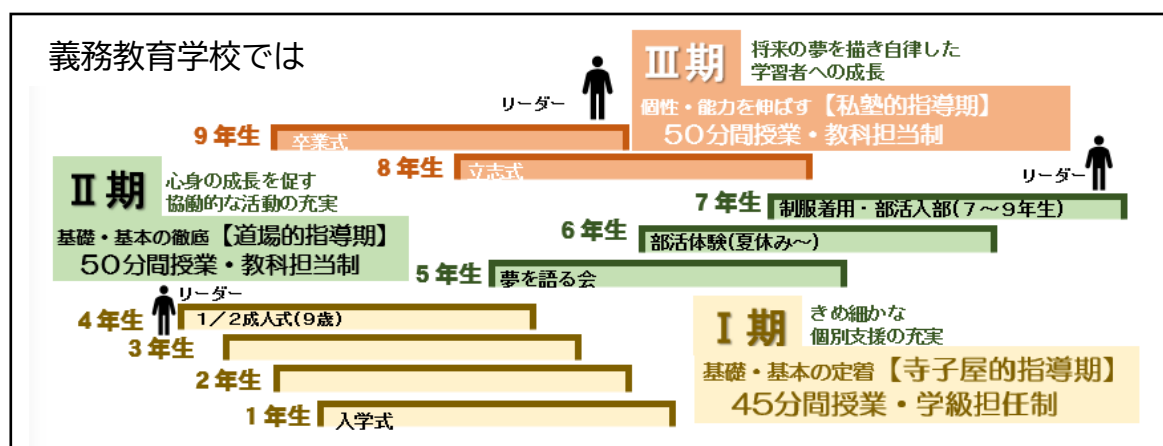
複式学級（2学年以上で1学級）が見込まれるなど、著しく児童生徒数が減少する学校は、統廃合を見据えながら、定期的実施計画の見直しを行います。

義務教育学校・小中一貫校について

小学校及び中学校で目指す児童生徒像を共有しながら、9年間の系統的な学びが可能となります。小中学校による合同行事の開催など、積極的な異学年交流を図ります。

学習面においては、小学校における一部教科担任制（中学校教員による指導）など、指導体制を工夫します。

義務教育学校	小中一貫校（併設型）
 <p>○新たな学校種（ひとつの学校） →1人の校長、ひとつの教職員組織</p> <p>○修業年限9年</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>小学校</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>中学校</p>  </div> </div> <p>○組織上独立した小学校・中学校が、一貫した教育を施す形態 →それぞれの学校に校長、教職員組織</p>



選ばれる持続可能な小規模特認校

市内全域からの通学が可能となる小規模特認校を設置し、豊かな自然環境の中で、きめ細かな教育を希望する児童や保護者等のニーズに対応します。

